

尼崎市現業評議会との 交渉状況

平成 30 年度第 4 号
通 算 第 3 6 号
平成 30 年 12 月 20 日
尼崎市総務局
人事管理部給与課

—平成 30 年度給与改定等について—

◎日時・場所

平成 30 年 11 月 12 日（月）午後 6 時 40 分～午後 7 時 40 分（すこやかプラザ多目的ホールA）

◎今回の交渉の主な目的

平成 30 年度給与改定について前回に引き続き協議を重ねるとともに、校務員業務の一部の見直しについて提案を行った。

◎組合への提案

（提案メモ）校務員業務の一部の見直しについて

[別紙](#)

◎具体的な交渉内容

1 平成 30 年度給与改定について

協議の要旨

前回交渉の翌日（11 月 6 日）に国家公務員の給与改定に係る閣議決定があったことを踏まえ、本市においてもできる限り速やかな条例改正を目指し、協議を進めていくこととした。

| 現業評議会の主張 | 当局の回答 |
|---------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 前回の交渉で協議した技能労務職給料表 3 級最高号給に係る問題についての当局の見解は。 | 組合からの指摘については理解しているが、これまでから国の行政職俸給表(ロ)に準じてきていることなどを踏まえると、号給の継ぎ足しなどの給料表の見直しについて、直ちに具体化することは難しいと考えている。しかしながら、当局としても現状については課題認識を持っており、今後改めて労使間で協議を行っていきたいと考えている。 |

| | |
|-----------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>来年度の給与改定の時期までに、給料表の見直しを行うという考えか。できるだけ早い対応を求めるが。</p> | <p>今後、給料表の見直しに限らず、こういった方策が有効な手立てになるかといったことも含めて協議していく必要がある、現時点では何とも言えない。一方で、今回の指摘は4級格付けとも関連するものであるが、これまでから「4級格付けについてはアウトソーシングの検討を行っていく中で改めて協議していく」としていることも踏まえ、できるだけ早い段階で協議の場を持ちたいと考えている。</p> |
| <p>直ちに給料表の見直しができない理由は。</p> | <p>既に国の行政職俸給表(二)にできる限りの継ぎ足しを行っていることのほか、将来的な財政上の影響等も踏まえる必要がある、十分な議論なしに給料表を見直すことは難しいと考えている。</p> |
| <p>給与制度の総合的見直しの際には、給料表上の救済措置があったはずであるが。</p> | <p>給与制度の総合的見直しは給料表の引下げを緩和する措置であったのに対し、今回は引き上げるものであり、人件費の増に働くことを踏まえると、更なる行財政改革に取り組んでいる中にあることは、慎重にならざるを得ない。</p> |
| <p>前回の交渉で提出を求めていた3級の最高号給到達者79人の年齢分布と交通局からの転籍者の分布に関する資料は用意してもらえたか。</p> | <p>資料の整理に時間を要しており、本日のところは用意できていないが、なるべく早急に対応する。</p> |
| <p>その内容を把握しなければ、諾否の判断をすることができない。直ちに窓口交渉の場で用意していただきたい。</p> | <p>了解した。</p> |

課題解決への方向性

回答期限である11月16日までに一定の判断をするよう伝え、組合も地公労統一妥結を目指して判断するとの意向を示した。

2 校務員業務の一部の見直しについて

協議の要旨

校務員業務の一部の見直しについて、その内容を示した上で協議を行った。

| 現業評議会の主張 | 当局の回答 |
|---------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 提案を受けてからでも、協議を進めていく中で必要な部分については変更できるという認識でよいか。 | 交渉は決定していることを報告する場ではないので、協議を進めていく中で詳細を変更することも当然あり得るものと考えている。 |
| 効果額は。 | 今年度との比較で、平成 31 年度は 8～3 月の 8 か月間で約 99 万円、平成 32 年度は 1 年間で約 135 万円を見込んでいる。 |
| これまでの提案型事業委託制度の実績を見ると、効果額が示されていないものもあったが。 | 提案型事業委託制度は民間事業者等のアイデアや工夫により、サービスやコストの面から市民にとってプラスになる提案を求めるといふもので、必ずしも効果額を前提としているわけではない。ただし、効果額がないよりは、あった方がベターと考える。 |
| 提案型事業委託制度審査会の委員の構成は。 | 地域活動に関する学識経験者、大学院の教授、企画財政局長、市民協働局長である。 |
| 提案してきた業者は。 | 既に東京都特別区や大津市などにおいて校務員業務の実績のある業者から提案があったと聞いている。 |
| 提案された取組内容や効果の詳細について確認したいが、提案内容に係る資料は何らかの形で確認することができるのか。 | 今後、支部で詳細について協議を進めていく過程でお示ししていくことになる。 |
| 民間業者からの提案内容等の詳細について具体的な説明もないままでは、協議できない。 | まずは、取組の概要を示して協議を進めようとするものである。これまでも詳細は支部での協議を尊重することとしてきており、この場でどこまで掘り下げべきかの線引きは難しいが、今後、支部での協議を進めていく中で、合意形成を図っていくものをご理解いただきたい。 |

| | |
|---------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>本部交渉では、本件に係る合理化提案を受け ること自体を保留していると聞いている。現業 評議会としても、同じ対応をさせていただく。</p> | <p>本部交渉においては、教育支部も含めた拡大 窓口で、その後の協議の進め方も含めて今回の 提案内容について調整することとしている。現 業評議会との交渉についても、本部と同様にこ の拡大窓口での調整結果を踏まえて今後協議を 進めていく考えである。</p> |
|---------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

課題解決への方向性

11月13日の拡大窓口において、提案型事業委託制度でどのような提案があったかなどの確認
を行い、引き続き教育支部において協議を進めていくこととした。

以 上
(給与課)

校務員業務の一部の見直しについて（メモ）

H30.11.12

1 目的

業務執行体制見直し検討会議の検討結果及び提案型事業委託制度審査会の審査結果の方向性を踏まえ、校務員業務（校務員が担う学校の環境の整備その他の用務）の一部について効率化を図る。

2 実施内容

「難波小学校」、「小田中学校」及び「あまよう特別支援学校（現：尼崎養護学校）」の3校における校務員業務について業務委託を行う。

3 実施時期

平成31年8月1日

4 人員

正規職員 ▲3人

以上
(給与課)

◎妥結事項

11月5日及び12日の2回にわたる交渉の結果を受け、11月16日に次の項目について合意に至った。

平成30年度給与改定

1 改正内容

(1) 給料表

技能労務職給料表について、平成30年11月5日付けメモのとおり改定する。

(2) 生活補給金基準額

給料表の改定に伴い、技能労務職給料表適用者の生活補給金に係る基準額について、次のとおり改定する。

| 年齢 | 現行 | 改定後 | 引上額 |
|------------|----------|----------|------|
| 30歳 | 204,400円 | 205,300円 | 900円 |
| 31歳 | 209,400円 | 210,200円 | 800円 |
| 32歳 | 214,300円 | 215,200円 | 900円 |
| 33歳 | 219,200円 | 220,100円 | 900円 |
| 34歳 | 223,100円 | 224,000円 | 900円 |
| 35歳 | 227,200円 | 228,100円 | 900円 |
| 36歳 | 231,200円 | 231,900円 | 700円 |
| 37歳 | 234,900円 | 235,500円 | 600円 |
| 38歳 | 238,600円 | 239,200円 | 600円 |
| 39歳 | 242,200円 | 242,700円 | 500円 |
| 40歳以上55歳未満 | 245,900円 | 246,400円 | 500円 |

※ H23.1.31時点で在職中の職員は、別途設定の行政職給料表適用者に係る基準額を適用する。

2 適用日

平成30年4月1日